



発行所  
カトリック長崎大司教区  
本部事務局  
〒852-8113  
長崎市上野町10-34  
カトリックセンター内  
TEL 095(842)4450  
FAX 095(842)4460

(2010年11月27日)

# 「いのちのための前晩の祈り」

## 開催に向けて

**司教、司祭、助祭、奉獻生活者、信徒の皆様**

教皇ベネディクト十六世は、今年11月27日、サンピエトロ大聖堂で、待降節第1主日前晩の祈りにおいて、「すべてのいのち(とくに出生前のいのち)のための前晩の祈り」をささげ、合わせて聖体礼拝を行います。この祈りの中で教皇は、主イエス・キリストが人となられ、完全にご自身をささげることによって、すべての人のいのちの価値と尊厳を示してください。また、すべての人のいのちを守ってください。よう主に願います。教皇は、同じ日に、世界中のカトリック教会

—教区、小教区、修道会、キリスト信者の会、運動団体—が、教皇とともに同じような祈りをささげ、今年を求められました。そこで、今年の待降節第1主日の前晩は、特別に、日本の教会としても「いのちのための前晩の祈り」をささげることになります。

教会は初めから人のいのちの尊厳を教えてきました。実際、「神のみが、生命の初めから終わりまでの主です」注(1)。「それゆえ「人のいのちはどんなことがあっても受精の瞬間から尊重され、保護されなければなりません」注(2)。

とりわけ「死の文化」が蔓延し、さまざま理由で人間のいのちがないがしろにされている現代世界

にあつて、教皇ヨハネ・パウロ二世は回勅『いのちの福音』を発表しました。この回勅の中で教皇は、わたしたちが「いのちの民」注(3)となつて「いのちの文化」を再建することを呼びかけました。教皇ベネディクト十六世も、何よりもいのちを守ることこそ平和の基盤であることを強調します注(4)。

「いのちに開かれていくことが真の発展の中心です」注(5)。

世界諸国での人工妊娠中絶の合法化の広まりや、生命科学研究の進展に伴う、人の受精卵を用いた研究の広がりなど、いのちをめぐる状況は『いのちの福音』が発表されたとき以上に悪化しています。日本カトリック司教協議会は、今年8月、国の意見募集にこたえて、「生殖補助医療研究目的での人の受精卵の作成・利用」に反対する見解を発表したところです。

くしくも2011年は、日本の司教団がメッセージ『いのちへのまなざし』を発表して10周年となります。司教団はこのメッセージの中で次のように宣言しました。

「わたしたちは、人間のいのちをむしばみ、その人生を疎外させるすべての悪に対して、カトリック教会がはっきりと「否」と言い、個々の困難な状況を克服し、問題を解決して、真理と正義と愛にあふれた社会をつくり上げようとす

る人々の輪に積極的に加わっていきたく願っていることを表明します」注(6)。

「わたしたちのために生まれた幼子」(イザヤ9・5参照)を迎えるこのときあたり、教皇とともに、すべてのいのちが尊重され、守られることを、ともに祈ってください。願います。

2010年10月7日

日本カトリック司教協議会会長  
大阪大司教 レオ池長潤

- 注(1) 『カトリック教会のカテキズム』2258。
- 注(2) 同2270。
- 注(3) 教皇ヨハネ・パウロ二世『いのちの福音』(1995年3月25日) 79。
- 注(4) 教皇ベネディクト十六世「2007年世界平和の日メッセージ」(2006年12月8日)「参照」。
- 注(5) 教皇ベネディクト十六世回勅『真理に根ざした愛』(2009年6月29日) 28。
- 注(6) 日本カトリック司教団『いのちへのまなざし2001年1月1日』 94。



# Q&A



**Q・** 教皇様は、毎年、今回のような祈りの呼びかけを行っているのですか？

**A・** いえ、今回のような祈りの呼びかけは、毎年のごとくありません。その意味で、そこには教皇様の特別な思いが込められていると言えます。今回の教皇様の呼びかけを世界各地の司教協議会会長に到達した教皇庁の典礼秘跡省長官アントニオ・カニザレス・ジヨベラ枢機卿と家庭評議会議長エンニオ・アントネッリ枢機卿の書簡(2010年6月14日)には、「人々の感性が鈍り、人間のいのちほどのような段階や状況においても固有で平等な尊厳を持つことを認識できなくなっている」現状が指摘されています。このような、いのちを軽視する「死の文化」への危機感が、今回の祈りの呼びかけの背景となっているのです。

**Q・** 「死の文化」とは、具体的にはどういうことですか？

**A・** もちろん、戦争やテロを正当化する考え方や、いのちの危機をもたらす貧困を意に介しない利益優先の考え方も「死の文化」を構成していますが、教皇ヨハネ・パウロ二世回勅『いのちの福音』によると、とくに人口妊娠中絶や安楽死を容認、推進する考え方の広まりを「死の文化」と呼んでいます。

**Q・** 出生前のいのちとは、胎児のことですか？

**A・** 母体が妊娠を自覚するのは妊娠2か月ごろからでしょうから、出生前のいのちとは通常胎児のことですが、科学が進歩した現代では、母体の外での受精(体外受精)も行われているので、着床前の受精卵も含まれます。2010年10月17日付『カトリック新聞』に、教皇庁生命アカデミー会長イグナチオ・カラスコ・デ・パウラ神父が、体外受精の開発者へのノーベル賞授与を批判したという記事が載ったことから分かるように、受精卵が放置されたり、破棄されたりすることに対して、教会は人のいのちを処分することと同様の犯罪だとして反対の立場をとってきました。今回の祈りの呼びかけは、このような基本的な考え方を確認するという意味もあります。

**Q・** なぜ、待降節第1主日の前夜の祈りだったのですか？

**A・** 真の人となられたイエスさまは、母であるマリア様の胎内で、出生の前のいのちも生きられました。くしくも、日本の司教団は、12月8日に改訳された「アヴェ・マリアの祈り」を発表しましたが、今回「胎内の子」という表現が明確になりました。教皇様の呼びかけに続く司教団の発表には、イエスさまの誕生をお祝いする前に、マリア様のおなかの中におられたイエス様に心をはせるとともに、出生前のいのちを尊ぶことを、より鮮明にしたと言えます。

**Q・** 日本は妊娠中絶が世界一多いといわれていますが、どのような状況ですか？

**A・** 厚生労働省の統計によれば、日本では年間20万件を超える人工妊娠中絶が行われています。しかしこれは役所に報告のあった件数であり、実数はさらに多いと推定されます。自死者が毎年3万人を超えていることも大きな問題ですが、人工妊娠中絶はさらにその6倍以上なのです。

**Q・** いのちを大切にするために、私たちに出来る事は、どのような事がありますか？

**A・** 信徒発見後、パリ外国宣教会の司祭たちは、海外や五島で乳児院を開設しました。それは、間引きの実態があったからだと言われています。また、子どもたちをお世話するために女性信徒を養成し、これが今のお告げのマリア修道会の土台となったそうです。さらに遡れば、キリシタン時代から、日本のカトリック教会はいのちを大切にすることを実践してきたと言えます。具体的な目の前のいのちを大切に思い、大事にすること、その実践の積み重ねが必要なのではないでしょうか

**Q・** 「出生前診断」ということばを聞いたことがあります。これはどういう意味で、教会はどのようにお考えでしょうか？

**A・** 胎児の健康状態を調べる検査ですのでそれ自体は悪いことはありませんが、検査結果で産むか生まないかを判断するようなことがあつてはなりません。すべてのいのちを大切にすることが、教会の教えです。

Q・生まれてくる子供の命の大切さは理解できませんが、現実問題として、高齢出産や母親に健康上の問題が発生した場合、私たち信徒はどのように対処すれば良いのでしょうか？

A・母体の健康上の問題であっても、人工妊娠中絶は正当化されません。しかし、胎児のいのちを脅かすほどに母体の健康がすぐれない場合、母体への治療は不可欠となります。その治療の結果、胎児のいのちがもたないことはあります。また逆に、出産のために母体がいのを落とすこともあり得ます。結果としてとても悲しいことですが、どちらか一方のいのちを生かすためであったとしても、もう一方のいのちを意図的に奪うような行為は、正当化されません。

Q・人のいのちは受精からといわれますが、若い人たちに対して、呼びかけや教会的指導方針など、あまり伝わっていないように思います。教会はどのようにお考えでしょうか？

A・中高生になると、人間の出生に関する知識もありますから、正しい性教育が必要となります。しかし、堅信後の教会離れという現実があつて、十分に対応できていないのが現状かと思われまます。例えばですが、各小教区や地区で婦人会が中心となつて、若者のためのいのちの一日勉強会を開催するとかはいかがでしょうか。

## いのちのための祈り

神の母聖マリア、

新しい世界の輝かしい夜明け、

いのちあるものの母、

わたしたちのいのちをあなたにゆだねます。

産声うぶごえを上げられなかった小さな子どもたち、

いのちの危機に瀕ひんしている貧しい人々、

残忍な暴力の犠牲となつている女性や子どもたち、

無関心とゆがんだ愛情のゆえに命をたたれる高齢者や病人たち、

このような人々に母としてのまなざしを注いでください。

御子キリストを信じるわたしたちが、

真心と愛をこめて、

今の時代に生きる人々にいのちの福音をのべ伝えることができますように。

この福音を、

まったく新しいたまものとして受け入れる恵みと、

生涯をとおして感謝のうちにたたえる喜びと、

堅い決意をもってあかしする勇氣を与えてください。

創造主であり、いのちを愛するかたである神の賛美と栄光のために、

すべての善意の人々と手をたずさえて、

真理と愛の文明を築くことができますように。アーメン。

（教皇ヨハネ・パウロ二世回勅『いのちの福音』の祈りをもとに作成。

二〇二〇年十一月一日 長崎大司教



新しい要理

「共に歩む旅」  
(27)

## 第二十五課

## 「病者の塗油の秘跡」

## 「いやしと希望」



【進行係】（参加者を歓迎して、十字架の印をしながら集いを始める）

「二・三人の方が祈りで神さまをこの席に招いてくださいませんか」

## A・私たちの生活

老いと病は人生につきものである。病気を病む人も苦しいですが、長い間寝たきりの病人を世話することも並大抵な事ではありません。生命を持ったすべての存在は、決してその苦しみから逃れることはできません。病気を通じて、人間は自分の弱さと有限性を経験します。



しかし、そこからしか得られない大切なこともあるのも事実です。

【進行係】上の写真を見ましよう。

【進行係】（参加者たちに質問する）

①これらの写真に何を見ることが出来ますか。

②病人が家族や隣人あるいは司牧者に期待していることは何だと思えますか。

## B・神のことは

イエスは苦しみに満ちたこの世に來られて、病人たちを治し、苦しむ人たちを慰め、飢えている人たちに十分な糧を与えてくださいました。イエスを通してなされた神のみわざは、人間の苦しみを取りのぞくことであり、死ではなく生命を与えることです。

## 【進行係】

「どなたかマルコ2・1-12（中風の人をいやす）を読んでくださいませんか」

・・・聖書を読む・・・

「他の方がもう一度読んでくださいませんか」

・・・聖書を読む・・・

## 【進行係】

「次の聖書の句を一人ずつ祈るように読んで下さいませんか」

「四人の男が中風の人を運んで来た。」（3回）

「屋根をはがして穴をあけ」  
（3回）

「床をつり降ろした。」（3回）

「あなたの罪は赦される」（3回）

「わたしはあなたに言う」（3回）

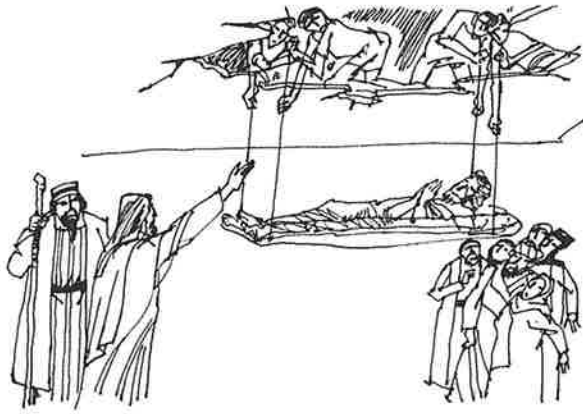
【進行係】（参加者たちに質問する）

①中風の病人はどのようにしてイエスのいやしを受けることができましたか。

②体のいやし、心のいやし、その他で、この中風の病人にとって、いやしはどんなものだったのでしょうか。

病者の塗油の秘跡は、いやしてくださるキリストと出会うようにしてくる秘跡であり、秘跡の恵みで霊魂と肉体をいやし、キリストの死と復活に与からせる秘跡です。教会は病人のため





に祈りを捧げる病者の塗油の秘跡の式で、愛と命の主がともにいてくださり、苦しみを取りのぞきやすいとくださるようになります。

信仰に基づく祈りは、病人を救い、主がその人を起き上がらせてくださいます。その人が罪を犯したのであれば、主がゆるしてくださいます。

だから、主にいやしていただくために、罪を告白し合い、互いのために祈りなさい。正しい人の祈りは、大きな力があり、効果をもたらします。(ヤコブ 5・15-16)

【参考聖書】

\* マタイ 8・14-17…多くの病人をいやす

\* マタイ 9・18-26…指導者の娘とイエスの衣服に手をふれる女

\* マルコ 1・40-45…重い皮膚病を患っている人をいやす

\* ヨハネ 5・1-9…ベトザタの池で病人をいやす

\* ヨハネ 9・1-7…生まれつきの盲人をいやす

C. さらに一歩進んで旅をつづけよう

【進行係】(参加者たちに質問する)

① 病気になる時、最も必要としたことは、何だったかお互いに話し合ってみましょう。

② 私たちのまわりに体と心の病気で苦しんでいる人がいます

私たちは病床についている時や苦しんでいる時こそ、かえって神に向かう強い歩みを始めることもできます。私たちは中風の病人をイエスに導いた共同体のように、さびしく苦しむ患者たちを世話し、神の愛を伝えることができます。

か。

その人のために祈るとか直接訪問することは可能ですか。

【進行係】

次の「病人のための祈り」を唱えながら集いを終わります。

恵み豊かな神よ、わたしたちの生涯はあなたの手によって導かれています。御子イエスはわたしたちの苦しみを負い、悲しみを担ってくださいました。

病の床にある兄弟(姉妹)(〇〇〇)のために祈ります。苦しみの中でキリストとともに十字架を負う人を、キリストの力によって強めてください。あなたの恵みによって健康を回復し、教会の集いの中で心からの感謝をささげることができるようになります。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

【進行係の心得】

いつまでもどこまでも、病のときも死のときも常にともにいてくださる神を現実には体感できないこの秘跡の深みを味わいたい。病人の最大の苦しみは病から来る苦しみと同時に、強烈な孤独感であることを学びたい。

【覚えましょう】

84・病者の塗油とは、どのような秘跡ですか。

\* 病氣(事故、老衰を含む)で生命が危うくなった信者を助け強める秘跡です。

85・病人の聖体拝領とは何ですか。

\* ミサに参加できない病人に司祭が聖体をもって自宅・病院に行き、聖体を授けることです。

86・煉獄は本当にありますか。

\* 亡くなった人が神のところ(天国)に行く前に受けなければならぬ清めの段階を煉獄といいます。

87・わたしたちはどのようにして煉獄の靈魂の清めを助けることができますか。

\* まだ地上の旅路を歩んでいるキリスト信者は、聖徒の交わりにより、煉獄の靈魂のために、祈り・とくにミサをささげることによって、また施し、免償、償いのわざをささげることによって、彼らを助けることができます。





# 人権問題

(一般論的立場)

一般社団法人・

全国人権教育研究協議会

代表理事 石村榮一

## 5. じゃんけんから人権を

信者さんの集まりの中でやっていただくと、かたい雰囲気やわらかくなってくるんじゃないかと思えます。アイスブレーキングと言って、かたい雰囲気、冷たいムードを、氷を溶かすように、和やかに温かい雰囲気に変えるという意味です。では椅子を中に入れてたってくださいですか。



じゃんけんで勝ったら指を1本折ってください。次は違う人としませう。2分間で10人の人に勝ってください。指が10本折れたら元の席に戻っ

てください。

実はこのじゃんけんゲームは、人権問題について考える効果的なプログラムになっていきます。このゲームをいじめのあるクラスでやると、その子だけジャンケンからはずされることがあります。その子の前を通るのにジャンケンをしなさい。次の子もそう。そんな時にストップをかける。「ちよつと待って。何かこのクラスね、すごく気になるんだ。みんないろんな人とじゃんけんをしてほしいと思ってるんだけど、みんなそうやっていられるかな。もう一度よく考えてみようか。」

だからどの子がいま楽しめなくて、きびしい状況をかかえているか、日曜教室の中に来る子ども集団の中にも、こういったことは起こりうる可能性はありますよね。もうひとつ、自分がジャンケンをするために歩き回った距離を考えてみてください。活動的な方は、いろんなところを動き回って、ジャンケンをされる。ところが、そこから動けない子どもがいるんです。お友達が来るのを待っている。この子は引つ込み思案なのか、それとも自分が回りに働きかけることにとつても敏感にならざるを得なくなってしまう出来事があったのか、こういうこともジャンケンを通してみんなの様子を丁寧に見ていくと見えてくることがあります。こんなとらえ方はどうでしょう。あ

なた方は負けてくれた方がいたから、早めに座ることが出来たと考えたらどうでしょう。勝つという一面だけ見れば、それが見えない。でも視点を変えれば、置き換えると、負けてくれた人がいたから自分は勝つたということに気づける。



ところでこの文字、何に見えますか。明るいところ白いところだけを見ていてもこの文字は読めません。暗い部分も含めて、全体を捉えるようにしなければ、わからない。今の社会はどういう方向に進んで行っているのか、どのように進んで行ったら良いのかという展望を間違っています。負けた人がいるから、勝つんだ。こういう視点での物差し、これも併せ持つ、こういう経験の豊かさ、考え方の豊かさ、こういったことが、今の社会では大切なのかなと思っていると、障害者に優しい社会、高齢者や子どもに優しい社会、こんな社会は誰にとつても

住みやすいあつたかい社会だとよく言われています。

この他、負けジャンケン、あいこジャンケンというのがあって、やり方だけ説明をしておきます。負けジャンケンは先ほどの勝ちジャンケンと逆です。10人に負けたら自分の席に座ってくださいというわけです。低学年では、必ずこの二つをセットでします。先ほど言った、負ける人もいるから勝つてというのを具体的に理解させる意味でも、必要かなと思っています。

あいこジャンケンというのは、あいこになつたらニッコリ笑って握手をしましょうねというだけです。あいこになるまでジャンケンをします。その後、「勝ちジャンケンとあいこジャンケンではどんな感じの違いがあったかな?」と尋ねると、「勝ちジャンケンでは相手の手だけしか見ていなかったけど、あいこジャンケンでは、次、この人何だすのかなあと顔を見ながら考えました」このように子どもらしい答えが返ってきます。自分はいこジャンケンの方が緊張しなくて楽しかった。そういう子供が多いようです。もちろん勝ちジャンケンが楽しかったという子もいますけどね。



②の後出しジャンケンにいきます。本当は皆さんに動いてもらったほうがいいのですが、これは僕といっしょにやりましょう。ぼくがジャンケンをします。それを見てから、ジャンケンをしてください。必ず勝ってください。繰り返します。「後から出すのです。」「必ず勝ってください。」「この二つが条件です。」  
今度は、違います。後出しで、負けてください。どちらがむずかしかったですか。

ハグな行動は起こらないんだなと思いました。だからそういった意味では日本の価値観は、必ずしも世界に通用する価値観とは限らない。長崎県では通用する価値観は他県では通用しない場合がある。だから、簡単に何が正しくて何が間違いなのか、こういったのを決め付けるのは、間違いをおかしやすいのかなとこのように思うわけです。

## 6・新型インフルエンザと人権

日本の新型インフルエンザは5月ごろ上陸しました。5月、6月はひどかった。何がひどかったかという  
と新型インフルエンザにかかった人に対する攻撃がすごかったんです。



け学校関係者は、新型インフルエンザの被害の怖さも風評被害、世間の人たちの攻撃が怖かった、こっちの方がもつと怖かったといわれています。電話がかかってきて、受話器を取ったとたん、「おまえたちは、何をやってるんだ。税金使って、インフルエンザをひろげているのか。こんな学校閉めてしまえ。」こんな調子で聞くに堪えない言葉を投げつけられたと言います。

別に好き好んでインフルエンザをひらいて外国に修学旅行に行ったわけではない。ないのにたまたま新型インフルエンザの菌にやられてしまつて、苦しんでいる。なのに日本に帰ってきたとたん、もの凄い抗議。「子どもたちを一步も外に出すな。」「何で学校はさっさと学校閉鎖をしなかつたんだ。」「研修会である先生が学校にタクシーの運転手が怖がついていたら、こには勘弁してください。私は行けませんと乗車拒否。乗車拒否をやつたら営業停止になるんですがね。それでもいいけません。ある意味そうかもしれないですね。テレビで報道されたあの頃のシーンを思い出してください。物々しい格好、防護服に身を包んだ人が、消毒に行くというニュース。みんなマスクを着けて、うるうるしている。ほんとうに大変な状況でした。日本ではマスクだらけの空港なのに、インフルエンザがもつと拡がっているはずの外国ではマスク姿がない。では何のためにマスクを着けているのか。人に移さないためにマスクを丁寧につけているというの、それはすごい、素晴らしい。もうとうとうのがいやだからというマスクのあれだけの多さというのは、ちよつと気になります。その結果、今はどうです。新型インフルエンザにかかったからといって何も言わないでしよう。というのは情報が乏しい中で、怖さだけが強調されると

僕ら不安になるんです。不安になったら、自分の不安そんな心が、あつという間に相手への攻撃として理不尽な行動をとってしまう。もうそこには、人の善意そして人への思いやり、そんなのは吹っ飛んでしまうのです。冷静になれば、自分以上にインフルエンザのために相手は苦しんでいるのだ、周りの人も必死なのだということぐらいは想像できるのではないかと。

熊本県の菊池恵楓園の話はしましたかね。もうだいぶ前になるのですが、長崎県のある労働組合の代表の方から声をかけられました。「石村さん、僕らは労働組合として、ハンセン病の学習をきちんとしたい。人権問題として考えたい。段取りのほうは自分たちでするから、いろんなサジェッション、助言がもらいたい。だから一緒に行つてもらえると嬉しいだけ」と言われました。「いや、ありがたい。ぜひ一緒に参加させてほしい」ということで、菊池恵楓園にお邪魔させていただきました。



大司教館から  
こんにちわ

大司教秘書

司祭 尾高 修一



## ひしよ・ひしよ書

私は恐れ多くも高見大司教様の秘書を仰せつ  
かっております。今回は、高見大司教様ではな  
く私が原稿を書くことになりました。高見大司  
教様のお話をお待ちしていた読者の皆さま、本  
当に申し訳ございません。しばらくの間お付き  
合いください。

さて何を書くかと考えたのですが、皆さん  
は高見大司教様についてはよくご存じでしょう  
から、私のこともちよつと知ってもらうために  
何か書こうと思いました。

私は司祭に叙階されて、5年間長崎コレジオ  
で過ごしました。叙階されたばかりで何も分か  
らない私が、小神学校を卒業した神学生の養成  
にかかわらせていただきました。その後、大司  
教様の秘書に任命され、現在大司教館で生活し  
ています。司祭の人事異動というのは、だいた  
い誰もが予想しないようなところに任命される  
のではないかと思います。私の場合も全く予想  
していませんでした。しかし、司教様がそうおっ  
しやるならそこに行きます、という従順な気持  
ちで司祭は任せられた任地で司牧に励みます。

ところで突然ですが、皆さんの「秘書」のイ  
メージはどのようなものでしょうか。秘書と聞  
くと何となく響きがよく、何となくカッコイイ  
感じがして、政治家の秘書や会社の社長秘書を  
想像するかもしれません。実は、長崎教区にも  
秘書の役目を負っている神父がいます。ただ他  
の教区では司教様に秘書がいないところもある  
ようです。私の場合、ビシツとした凛々しいと  
いうよりも周りの人の目には頼りなく滑稽に映  
るようです。

周りの人から自分がどのように見られている  
のか誰でも気になるところではないでしょうか。  
私が秘書になって初めて浦上教会のミサに歩い  
て行った時、顔見知りの青年は私を見て笑って  
いました。大司教様の祭服の入った大きなかば  
んを抱え、大司教様の後ろを歩く私の姿が滑稽  
だったようです。まだ慣れていなかったことも  
あり、ちよつとおどおどしていたのかもしれま  
せん。笑いで始まった秘書デビューでした。見  
た目が滑稽と言えば、こんなこともありました。  
ある日、ローマから来られたある女子修道会の  
総長様が、日本人の管区長様と一緒に大司教様  
に面会に来られました。私はローマンカラーを  
してスーツ姿で出迎え、一緒にエレベーターを  
会室に向かっていました。イタリア人の総長様  
が日本人の管区長様にイタリア語で「彼は神学  
生なの？」と私のことを聞いているのが耳に入  
りました。まだまだ神父の貫録が足りなかった  
のででしょうか。神学生に間違えられたことは初  
めてではなかったものの、いつになったら間違  
えられなくなるのかとちよつとショックでした。

見た目だけでなく他のことについても、自分  
はどのように見られているのかちよつと気にな  
るところですが、秘書という立場は中途半端な

記憶を残すこともあります。私のことを「堅信  
式などで顔は見たことあるけど名前は知らない」、  
ということがほとんどだと思います。特に子供  
はそうらしいです。無理ありません。私はあ  
まり目立ちませんから。それで、そういうこと  
もあって、ある子供からは、「大司教様の手下」  
とか「大司教様の子分の神父様」と言われたこ  
とがあります。正直びっくりしました。教会が  
司教様を中心に周りのみんなが協力すること  
をうまく言ったものだと感じしました。憎らしい  
ですが憎めないですね。

このような調子では、読者の皆さまから「こ  
の秘書は大丈夫だろうか？」との心配の声が聞  
こえてきそうです。今更ながら念のために「秘  
書」という言葉を手元の国語辞典で調べてみる  
と、「組織体の長など重要な地位・職務にある  
人のそばに居て、機密を要する仕事をする役の  
人」(新明解国語辞典・第五版)と書いてあり  
ます。自分自身、多くの欠点や反省すべき点  
がありながら、それでも、与えられたところで、  
与えられた使命を果たすよう努めていきたいと  
思います。また、自分の立場をわきまえ、見た  
目よりも中身で評価されるように、一所懸命が  
らばっていききたいと思えます。どうぞよろしく  
お願いします。







## どんなときにも 「善」くしてくださる神さま

60年前のクリスマス、洗礼の恵みをいただいた時、七田 和三郎師が「一日に聖書を一頁読め。それが出来ないなら一行読め。それも駄目なら聖書を開け。それさえ叶はなければ聖書に手を触れてから寝なさい。」といわれた。師の教えは、「すべてを神に」ということであつたと思う。

やがて仕事も忙しくなり、家庭をもち、転勤など、聖書を読む時間があるだろうか。帰宅すると疲れて寝てしまう。そういう日々であつた。ある日、一日に5分間だけ読んでみようと考えた。しかし、たったの5分。何ほどのことがあるか、との思いもあつた。とにかく実行してみようと決心し、仕事の合間や休みの時間などに5分間読みはじめ、印象に残る部分に赤線を引くことにした。これは、後日パラパラとめくった時、目に付くためである。慣れるに従って、たったの5分間に数頁を読めるようになり、年間をとおしてかなりの数の本が読めた。また、副産物として、集中力が養われていった。会議などに於いて、メモをとることなく要点が頭に入るようになり、仕事のうえでも大へん役にたつた。さらに、読むたびに要点をチラシの裏などに書き貯めていった。それが数十年たちダンボール箱数箱になった。転勤のたびに「このクズは捨てないのですか」と妻。「それは僕の宝物」と私。定年になり時間がとれるようになったとき、それを整理したところ、数冊の物になった。それを今でも受洗講座に使っている。

神さまがくださった時間。たったの5分間に聖書の一行が読めるのです。その中に「宝」が一杯あるのです。私たちは、「みことば」と「ご聖体」に養われている。「みことば」を食べるためには「みことば」を手に入れなければなりません。

キリストは「行って〇〇しなさい」「求めよ、さらば与えられん。たたけよ、さらば開かれん」と言われます。私たちに行動することを促しています。行動する時、何かと与えられることを聖書は告げています。

海軍士官を夢見た軍国少年、近眼になり兵学校受験が出来なくなったこと。昭和20年8月15日に負けるとき歴史の先生が、「おい桃菌、お前が一生懸命学んだ日本の歴史観は間違いだつた。」と。なまいきな少年にとっては「へっ、何それ」という感じ。胸にポツカリ穴があいた。それを埋めようと好きな絵や音楽にのめりこんでいった。あるとき、バッハやモーツアルトの背後にいつも教会があることに気付く。教会を知らなければ、バッハやモーツアルトは理解できないのか、と考え教会を訪ねた。すると、七田 和三郎師が大きな懐中時計を取り出し、「この時計は作った人がいるからここにあるのだ。」「あなたがそこに居るということは、あなたの存在を意志するものがあるから」と。わたしはどういうことか勿論わからなかった。さらに「日曜日にミサがあるから来なさい。」生まれてはじめてミサに与った。当時はラテン語が使われ、グレゴリオ聖歌が歌われていた。ラテン語を知らないので歌の意味はわからなかった。しかし、グレゴリオ聖歌の響きをきいたとき、身がふるえる感動をうけたことを今もはっきり覚えている。そのとき、「私は信者になろう」と決めた。いや、決めさせられた。後日、ザアカイ物語を読み、ザアカイがキリストペースでグイグイ引きずられていく様子をわが身に思うことだつた。文化を求めて教会を訪ねた私に、神さまは信仰という、とてつもない大きな宝をくださった。

一昨年春、シオンの丘に立ち思つた。これまでわが身におきたことは、「今」に向けた、神さまが「定められたとき、すべて時宜にかなうように美しく定められた（コヘレト3の1～）」ものであつたと。神さまは「幸せ」しかくださらない。これが結論である。残された時を「走りぬこう（パウロ）」。



鹿児島教区  
終身助祭 桃菌 淳一郎



# 召命

## 長崎教区の神学生養成機関紹介 (長崎カトリック神学院・長崎コレジオ)

長崎教区は、中学生・高校生・大学生のための神学生養成機関を持っている。そのうち、中学生・高校生のための神学生養成を長崎カトリック神学院が担当している。神学生たちは南山中学・高等学校に通いながら共同生活を行い、信仰生活を身につけていく。

長崎カトリック神学院を卒業した神学生は、次のステップである長崎コレジオへ進学し、長崎市内の大学に通いながら共同生活を行い、神学生養成の最終段階である日本カトリック神学院へ行くための準備を行う。

### 長崎カトリック神学院(小神学校)

#### 〔1〕歴史、成り立ち

1865年3月17日、世界のキリスト教史の中でも驚くべき出来事が起こった。長崎の信徒発見である。約230年の潜伏時代を経てキリシタンは待ち望んでいた司祭に出会うことができた。信徒発見に立ち会ったパリ外国宣教会のプチジャン神父は、翌日にはすでに日本人の

司祭養成を頭に描いていたという。そして、早くもその年の暮れには養成を開始した。1865年12月の無原罪のマリアの祝日の週のことだった。これが、小神学校の始まりで、今から145年前のことである。

それ以前にも、日本に神学校が設立されたことがあった。

1549年、フランシスコ・ザビエルにより、日本にキリスト教が伝えられた後、キリストの教えは次第に伝え広められていったが、宣教するにあたって外国人宣教師たちは難しい日本語に苦労していた。そのような折、1579年、イエズス会巡察師ヴァリニャーノが来日した。

彼は、日本人司祭を養成しなければ、日本への宣教は難しいと考え、翌年にはセミナリオとコレジオを設立した。その司祭養成のための神学校も、相次ぐ禁教令のために1614年を最後に閉鎖されていた。

#### セミナリオ

ラテン語で「苗床」という意味。イエズス会巡察師ヴァリニャーノが1580年有馬に、翌年安土に設立、日本人司祭や伝道士の養成を目的とした学校。7〜17歳のキリシタンの少年たちを対象とした全寮制で、ラテン語、日本文学、音楽が特に重視された。禁教令のために安全な場所を求めて各地へ移り、1614年長崎を最後に閉鎖された。今の小神学校にあたる。

#### コレジオ

ヴァリニャーノが1580年、豊後府内(大分県)に会員養成のために開設したイエズス会の神学院。禁教令のため山口、生月、千々石、

### 長崎カトリック神学院(長崎公教神学校)

#### 略年表

1865	信徒発見。プチジャン師、神学校を創立(12月8日)
1867	ペナン神学校(マレーシア)へ〔宗教迫害始まる…浦上四番崩れ〕ペナンより引き上げ、東京神学校へ。
1872	大浦に神学校舎建つ(ド・ロ神父設計)(「私立神学大学羅興典学校」)
1875	初代校長に、ルノー師
1877	第2代校長に、フレノー師
1880	第3代校長に、ボンヌ師。第1回卒業生(3人)。
1882	信教の自由(日本帝国憲法第28条)
1889	ウルバノ大学に留学(長崎教区最初の留学生)
1901	第4代校長に、グラシー師
1911	浦上神学校竣工(現在の「聖フランシスコ病院」)
1925	第5代校長に、ドルエ師
1926	長崎教区、邦人教区に
1927	第6代校長に、浦川和三郎師
1928	海星中学へ通学開始。一般生と机を並べることになる。
1929	東京公教大神学校に進学(長崎での神学科廃止。小神学校として存続する)
1930	浦上校舎、フランシスコ会に譲渡。大浦神学校から通学
1932	東山学院の校舎敷地を買収し、神学校を移す。『長崎公教神学校』と呼称。

有家、加津佐、天草、長崎へと安全な場所を求めて移り、1614年閉鎖された。哲学、神学、ラテン文学、日本の宗教についてなどの学科があった。今の大神学校にあたる。①注一

その神学校が、251年ぶりに復活したのである。

その経緯は、中島政利著『福音伝道者の苗床』長崎公教神学校史Ⅱ（聖母の騎士社 1977）に詳しく記されている。その一部を紹介する。

「プチジャン神父と同僚のローカニユ神父は、信徒発見の翌日、邦人神父養成のことを夢見ていた。それは、外国宣教会の主要な目的でもあったからである。けれども、その計画は、非常な危険を伴うものであった。

ところで、人目につかぬ隠れ家を造っては如何でしょう、とローカニユ神父が提案した。計画は、即座に実施された。ローカニユ神父は、宣教師たちが住んでいる、司祭館の屋根裏を利用して、かなり広い場所を整え、そこに、数人の少年たちを選んで住まわせ、彼らに、キリスト教の教理とラテン語を教えることにした。

かようにして、選ばれた少年たちは、才能があつて、しかも勉強意欲の強い、浦上の高木慶三郎と源太郎の兄弟、それに、五島の下村与作の三人で、共に最初の神学生となった。

この隠れ家は、布教の都合で宿泊しなければならぬ客人宣教師のためにも、夜となく昼となく解放された。そして、これを使用したのは、慶応元年（1865年）12月8日聖母無原罪の祝日の八日間中であつたので、『無原罪の御孕りの間』と命名した。

これが、長崎神学校の創立であり、また、無原罪の聖母を守護の聖人として、仰ぐようになった経緯でもある。」

「二人の少年神学生たちは、翌慶応二年（1886年）2月4日、条件付で洗礼を授けられ、翌五日未明、日本二十六聖人殉教者の祝日に、周辺の厳しい事情のためチャペルで出来ず、止むなく「無原罪の御孕りの間」で、久しく待ち望んでいた初聖体を拝領することが出来た。

ローカニユ神父はその喜びを、「私たちの心に溢れる喜びを表現するのは、とても難しいことです」と書き残している。

聖体の秘跡においでになる神は、二世紀も前から、日本人の心の中に求めている新しい住家を、やつと発見したのである。」

前掲の中島師の著書をもとに、小神学校の概略史を抜粋して年表にまとめると以下のようなになる。

①注一まるちれす編纂委員会編著『恵みの風に帆をはたて』ドン・ポスト社、2008、P 61



1938	大神学校の予科として中神学校の設立（東京、福岡、仙台）
1940	東陵中学校開校のため、大浦神学校に戻る。
1941	第7代校長に、山川清師
1943	長崎中神学校開校（福岡開校の予定から変更）
1945	神学生8名が原子爆弾被爆により帰天。
1946	神学・哲学の講義開始。第8代校長に、里脇浅次郎師
1947	神学・哲学科生、大村市葛城へ。
1948	第9代校長に中島政利師
1952	大神学生、福岡のサン・スルピス神学院へ
1956	東陵学園が南山学園に吸収合併。南山学園の移転に伴い、橋口町に公教神学校新校舎建設。
1966	第10代校長に、大窪政吉師
1970	公教神学校をスクート会（淳心会）に委託。第11代校長に、ペック師
1974	スクート会、神学校教育を返上。
1977	第12代校長に、深堀栄一師
1983	第13代校長に、丸尾武雄師
1983	第14代校長に、浜崎渡師
1988	第15代校長に、小島栄師
1989	大司教館建設のため、新校舎建設開始（11月10日）
1992	新校舎落成（11月6日）、同時に『長崎カトリック神学院』に名称変更
1998	第16代校長に、浜口末雄師
2002	旧大浦司教館に、『長崎コレジオ』開設
2005	第17代校長に、山内実師
	第18代校長に、山田良秋師

（次号に続く）



# 生活教会 の中の教会



諫早教会

フォトプラン 山本 富夫

## 喜寿を越え

天満の丘に建つ白亜の教会堂。隣接の園舎と共に福音の香を放つ。

歴史は昭和初期に遡る。一九三三年、教会堂を献堂し、小教区として独立。時に十二家族、五十人足らずであったという。

一九五三年、信徒数は約十倍に。地域の成長と宣教を考慮し新堂を建立。

一九八一年二月、教皇来崎。浦上にて定礎石の祝福を受ける。

一九八三年、老朽化の進む旧堂に替わり、三代目の現新堂を献堂。

モダンな教会堂は今、喜寿を越えた小教区にあって信仰の涵養に寄与し、その歩みを支えている。